

第 1 回三重津海軍所跡保存整備指導委員会 議事録

●日時：令和元年 5 月 30 日（木）9 時 30 分～11 時 30 分

●場所：佐野常民記念館 多目的室

●参加者：

【委員】

有馬委員・今津委員・富田委員・中村委員・本多委員

※欠席：安達委員・内田委員・渡辺委員

【助言者】

内閣官房産業遺産の世界遺産登録推進室

佐賀県文化スポーツ交流局文化課文化財保護室

※欠席：文化庁文化資源活用課

【所有者】

九州地方整備局筑後川河川事務所

※欠席：佐賀県有明海漁業協同組合早津江支所

【関係機関】

九州地方整備局筑後川河川事務所諸富出張所

【オブザーバー】

九州地方整備局有明海沿岸国道事務所

九州地方整備局佐賀国道事務所

日本赤十字社佐賀県支部

佐賀県立佐賀城本丸歴史館

佐賀県文化スポーツ交流局文化課

【庁内関係課】

水産振興課

緑化推進課

建築住宅課

南部建設事務所

社会教育課

文化振興課

【事務局】

企画調整部長

三重津世界遺産課

●佐賀市企画調整部長挨拶：

本日はお忙しい中、令和元年度第 1 回三重津海軍所跡保存整備指導委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

まずは、皆様のご協力により昨年度「屋内展示」「屋外展示」両方の基本設計を取りまとめることができましたことについてお礼申し上げます

昨年度は明治維新 150 年の年であり、「肥前さが幕末維新博覧会」の相乗効果もあり、登録年以降減少傾向にあった来訪者数も増加に転じました。今後もこの来訪者数が維持できるよう様々な工夫を行いながら、活用事業についても展開していく必要があると思っております。

さて、三重津海軍所跡の屋内展示施設につきましては、佐賀市としては令和 3 年度秋のオープンを目標に準備を進めているところであり、展示内容につきましても、その充実はもとより、正しく誰もがわかりやすい展示として整備したいと考えております。

今年度の実施設計を行うこととしておりますが、本委員会でのご意見を踏まえ、今年度より委員会に作業部会を設置し、展示内容についてより詳細な検討を行っていきたいと考えており、今後も委員の皆様にはご協力をお願いしたいと思っております。

本日は、昨年度取りまとめました「屋内展示」「屋外展示」の基本設計内容の報告を行いますとともに、今年度の進め方や、「屋内展示」の展示構成リスト等についてご議論いただければと考えております。

本日は長丁場となりますが、よろしく願いいたします。

●出席者の紹介：

委員会名簿

●会長あいさつ：

お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。

展示計画の方も内容が詰まってまいりまして、本格的に具体的な内容を固めていく段階に差し掛かってきております。

作業部会の方でご検討いただいた案について、改めて是非ご検討いただきますようよろしく願いいたします。

【報告事項】

- (1) 屋内展示・屋外展示の基本設計の取りまとめ状況について

【資料説明】

- ・「資料 1-1」「資料 1-2」を用いて、屋内展示及び屋外展示の基本設計の取りまとめ状況の内容を説明。

【質疑】

委員 屋内展示の方は、展示構成を見た感じまだ内容が盛りだくさんのように感じるが、この部分については作業部会の中で更に内容の検討をお願いすることになると思われる。

他に意見はないようなので、屋内展示・屋外展示の基本設計の現状での取りまとめについては、了承されたということで先に進めさせていただく。

【協議事項】

- (1) 今年度の進め方について

【資料説明】

- ・「資料 2」を用いて「全体スケジュール」、「作業部会の設置」を併せて説明。

【質疑】

※質疑なし

- (2) 屋内展示の実施設計について

- ① 展示構成・ゾーニング（案）について

【資料説明】

- ・「資料 3-1」～「資料 3-4」を用いて説明。

【質疑】

委員 3階のゾーニング図から基本設計の時にあった「みえつ空中散歩」がなくなっている。「みえつ空中散歩」は、三重津海軍所跡を真上から俯瞰できる体験型のコンテンツで、かなり良いコンテンツになり得ると思っていたのだが、再検討できないか。

委員 俯瞰的な動画はありそうでない。かなり効果的だと思う。ただ、配置している場所は検討する必要がある。「みえつ空中散歩」は現時点では要検討項目として残せればと思う。

委員 「みえつ空中散歩」をなくした場合の3階の動線がどうなるかもきちんと考えた方がよい。

- 委員 3階に来訪者をどうやって上げるかというのは、以前からの課題でもあった。ミュージアムショップが魅力的であることも非常に重要で、ここでしか買えないものがあれば人は来ると思う。
- 事務局 「みえつ空中散歩」をなくしたのは、1階の映像ホールや3階の東西テラス等で提供するコンテンツで代替ができるのではないかと考えたため。映像や端末等で、「みえつ空中散歩」に代わる体験ができるように検討したい。
- 委員 3階への動線については、ご指摘いただいたように、コンテンツ・レイアウトを整理する。
- 事務局 「みえつ空中散歩」のモニターを見たり、ゆっくり休憩できる場として丸テーブルとイスの配置を考えている。ここでは地元ボランティアの方々による湯茶接待も考えており、ここから周遊・観光につながればと考えている。
- 委員 「三重津海軍所跡の概要」のパネルを読んだ後に、その奥にある「三重津海軍所跡のフルヒストリーと時代背景」に進んでくれるだろうか。
- 委員 「三重津海軍所跡の概要」、「三重津海軍所跡のフルヒストリーと時代背景」、「海軍所整備の変遷」で示されている資料カード（案）には、資料の重複がかなり見られる。「三重津海軍所跡の概要」と「三重津海軍所跡のフルヒストリーと時代背景」については、パネルの統合を考えてみてもよいかも知れない。
- 事務局 来訪者はこちらが思うようには動いてくれない。順番に見なくても、全体で理解してもらえればよいのではないか。
- 事務局 展示資料カード（案）で示した資料の重複について、「海軍所整備の変遷」では映像解説を行う予定の部分が重複している。
- 委員 グラフィックパネルと映像の違いはあるが、解説項目の重複もあるので、さらに精査する。

②展示演出（案）について

【説明】

- ・実施設計業務の受託業者から、ドライドック原寸模型と大型スクリーンを連携した演出方法の一例をスクリーンに写して紹介。

【質疑】

委員 原寸のドライドック模型と大型スクリーンの映像の関係、紹介された映像の実現は難しいと思って見ていた。

ドライドックの渠底の中心と大型スクリーンの中心が合わないの
で、電流丸がスクリーン映像の中心に見えることはない。また、模型
を補完する演出はあってもよいと思うが、歴史的な背景の説明は大型
スクリーンでは必須ではないと思う。

委員 私も歴史的背景は、大型スクリーン映像に必要ないと思う。「フェ
ートン号事件・アヘン戦争・危機意識」の3点セットは、展示室のあ
ちらこちらで出てきている。各展示エリアの役割をもっと整理した方
が良さそうに思う。ドライドックの運用の理解の補助になるような映
像を主とした方がよい。

委員 何を強調すべきかを考えた方がよい。地盤の軟弱さを理解し、江戸
時代からある在来技術で西洋式のドライドックを造り上げたすごさ
を感じることができるのが三重津海軍所跡のドライドックだと思う。

委員 自然環境的な前提、技術的な前提を解説した方が良さそう。この地
にドライドックを造るのが技術的にどんなに大変なのかを説明した
後にドライドックの機能の説明に移るとか。

正確さと演出のバランスが難しいところではあるが、来訪者に洋式
船が入ってくるようなシーンは、できれば大型スクリーンで見せたい
と思う。

委員 この場所は、入口からトンネルを抜けた後の最初のイントロダクシ
ョンとなる部分。ワクワク感やスケール感など、感覚や感情に訴える
役割が、この大型スクリーン映像とドライドックの原寸模型の展示に
はあるのではないかと思う。照明による演出なども考えられているの
でいいなと感じた。

委員 ここの展示は、入った瞬間のインパクトが勝負になる。江戸東京博
物館の常設展示に似ている。

これから本格的な議論になっていくが、設計業者さんも「これはダ
メ。」と言われても、簡単に引き下がらず、押し返してほしいと思う。

委員 ドライドック模型の後ろの壁も忘れないでほしい。あえて演出的な
ことは何もせずに、ドライドック模型に注目させるのも一つの方法で

ある。

事務局

とりあえず演出方法の一つの例としてご紹介させていただいた。いただいたご意見を踏まえ、今後作業部会等で検討を進めていきたい。

● (3) 三重津海軍所跡のモニタリングについて

【資料説明】

- ・「資料 4」を用いて説明。

【質疑】

委員

月 1 回も引き上げる必要があるのか。理想としては、リアルタイムで状況を認識できるようにしておいた方がよい。

委員

今の事務局の案だと、何らかの環境変化の兆候が見られたとしても、月 1 回しか確認できないことになる。

委員

ガイダンス展示での活用を考えるなら、リアルタイムで数値が分かった方がよいのではないか。

遺跡周辺の地下水に何が溶けているか、塩分濃度なども一度確認しておいた方がよい。

委員

展示での活用は、「今こういう数値が出ているが、これはこういう状況を指す、だからしっかりと遺跡が保存されていることが分かります。」という流れで説明した方が来場者にはインパクトがあると思う。

委員

しっかりと遺跡を保護しているということも伝えることができる。

委員

他に何かご意見ございますか。

モニタリングについては、ご指摘を踏まえ、事務局の方で検討を進めていただくということによろしいか。

事務局

了解した。

● 閉会

事務局

次回の会議日程についてですが、本日ご欠席の委員の方まで含め、委員の皆様方のご都合を確認させていただいたところ、7月19日（金）が開催の候補日となっております。

今回は7月19日（金）とさせていただきます。

改めて、ご案内はお送りさせていただきますが、日程の確保をお願いいたします。

それでは、本日の会議はこれで終了させていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。